

水道管を保温しよう！

水道管も冬支度！

毎年、冬になると水道管の凍結事故が多発します。

屋外で水道管や蛇口が露出している場所、北向きで風当たりが強い場所の水道管が凍結したり破裂したりします。

このため、次のとおり水道管の保温対策を行いましょ。

■保温対策

露出している水道管

壁の外側に設置されている配管には、保温材を巻きましょ。

屋外にある蛇口

保温材や毛布等でくるんだり、水道用の保温器を使いましょ。

屋外型ボイラー

ボイラーに接続された水道管は保温されているか確認し、また、長期間使用しない場合は、水抜きを行い凍



水道管を凍結から守ろう！

結を予防してください。(詳細はボイラーの説明書で確認を。)

■凍結して水が出ない場合

凍った部分にタオル等をかぶせてぬるま湯をゆつくりかけてください。決して熱湯をかけないでください。

万が一、水道管等が破損した時は、町指定給水装置工事店または水道事業へご連絡ください。

水道に関するお問い合わせは役場まちづくり課水道事業(☎⑦4545)まで。その他水道に関する情報は、神崎町水道事業ホームページをご覧ください。

<http://kouzakimachi.com/suidou>

利根川の堤で 犬の散歩は マナーを守って！

9月議会の後、各地区で地区住民と議員の「意見交換会」が開催され、次の要望がありました。

『利根川に犬を連れてくる人が多いが、犬を放し飼いにするのでとても恐い。犬をつないで歩いて欲しい。』

このため、飼い主はマナーを守りましょ。

今までに並木、今・高谷、郡地区で意見交換会が開催されました。



会社訪問

町内にある会社紹介とそこで働いている人の横顔を紹介します。

サンゴバン・ティーエム(株)の紹介

私たちの身の回りにはたくさんガラス製品があります。

例えば、窓ガラス、自動車のガラス、蛍光灯、ブラウン管、壇ガラス、そして液晶やプラズマといった薄型テレビの基板ガラス等が挙げられ、私たちの暮らしを豊かにしてまきました。

これらのガラス製品は、珪砂などを1500以上の高温で溶解した後、それぞれの用途に応じた形に成型されます。



クレーンを操作してブロックを仮組立している香取さん

私の職場

この会社に昭和60年に入社し、現在製造部の仮組立で活躍している香取庸史さん(成城台)にお話を聞きました。

香取さんは、検査に合格したブロックを仕様書に基づき、寸法や角度をチェックし仮組立(実際の築炉工事のようにブロックを組み立てる)を行ってまします。常々、安全・品質・環境・コスト・納期に気を配り作業を行ってまします。

また、昼食は全員で食堂を利用し、数種類のメニューから選択することができ、とても好評とのこと。



正面入口からみたサンゴバン・ティーエム(株)

サンゴバン・ティーエム(株)(前身は東芝モノフラックス(株))は、昭和47年に神崎工業団地に移り、ガラスメーカーに向け、高温の溶融ガラスに対して耐食性に優れた高品質の炉材(電鍍耐火物)を提供し、ガラス産業の発展に貢献してまきました。